

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域保育園との交流は継続しているが、日常的にグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねてくるということが少ない。	家族や知人、地域の人たちが気楽に出入りし、利用者と交流することで、利用者の生活が活性化される。また、グループホームを地域の方に知っていただく。	お茶会や発表会、作品展などを企画し、利用者や地域の方が一緒に楽しみ、交流できる場を作る。ボランティアなどの積極的な受け入れを行う。	12ヶ月
2	26	現状に即したプランの作成・実施のためにもっとタイムリーなサービス担当者会議の開催が必要。また、家族に対する支援を踏まえた上で、本人の支援に対して、家族の意見、関わりを増やしていくことが望まれる。	サービス担当者会議の充実を図り、本人の思い、家族の意見をプランに反映し、家族と共にチームで支援できる。	家族支援について学ぶ。サービス担当者会議の内容、方法を再検討する。サービス担当者会議に向けたカンファレンスの充実を図る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。